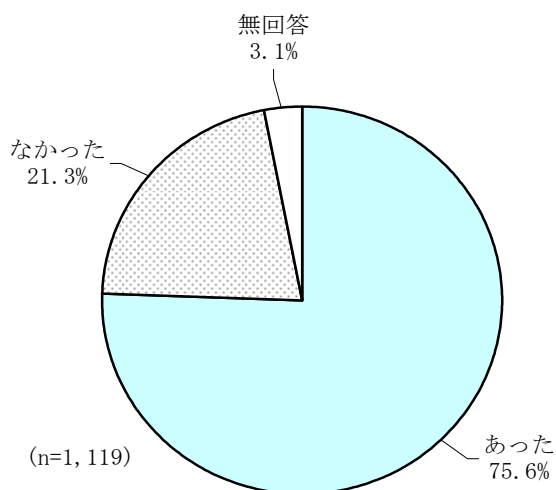


8. 子どもが病気やケガの際の対応について

(1) 子どもが病気やケガで事業が利用できなかった経験の有無

問22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。【○は1つだけ】 定期的な教育・保育事業を利用している人のみ回答

【子どもが病気やケガで事業が利用できなかった経験の有無】



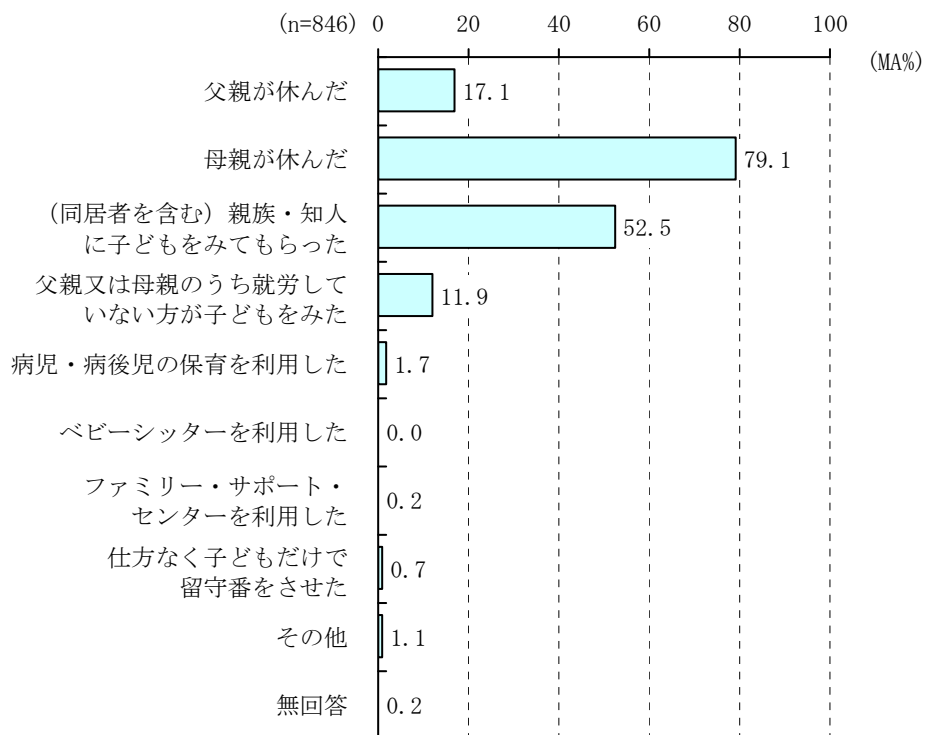
子どもが病気やケガで事業が利用できなかった経験の有無をみると、「あった」が75.6%、「なかった」が21.3%となっている。

(2) 子どもが病気やケガで事業が利用できなかったときの対応

問22-1 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業ができなかった場合の対処方法は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】
また、その日数は概ね何日ですか。

【子どもが病気やケガで事業が利用できなかったときの対処方法】

※ここ1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった人



子どもが病気やケガで事業が利用できなかったときの対応をみると、「母親が休んだ」が79.1%で最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(52.5%)の順となっている。

順位	問22-1 その他の内容	件数
1	自営のため、また自宅で仕事をしているため自宅で見た	4
2	母親の職場につれていった	2
3	母親が夜勤の仕事のため、休まず対応できた	1
3	その他	1

【対処に費やした日数（年間）】

※ここ1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった人

	全体	5日未満	5～9日	10～19日	20～29日	30日以上	無回答
父親が休んだ	145 100.0	104 71.7	32 22.1	7 4.8	- -	1 0.7	1 0.7
母親が休んだ	669 100.0	206 30.8	172 25.7	175 26.2	58 8.7	32 4.8	26 3.9
(同居者を含む) 親族・知人に子どもを みてもらった	444 100.0	147 33.1	100 22.5	101 22.7	13 2.9	13 2.9	70 15.8
父親又は母親のうち就労していない方が 子どもをみた	101 100.0	29 28.7	22 21.8	29 28.7	11 10.9	5 5.0	5 5.0
病児・病後児の保育を利用した	14 100.0	9 64.3	2 14.3	3 21.4	- -	- -	- -
ベビーシッターを利用した	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ファミリー・サポート・センターを 利用した	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6 100.0	4 66.7	- -	1 16.7	1 16.7	- -	- -
その他	9 100.0	2 22.2	2 22.2	3 33.3	1 11.1	- -	1 11.1

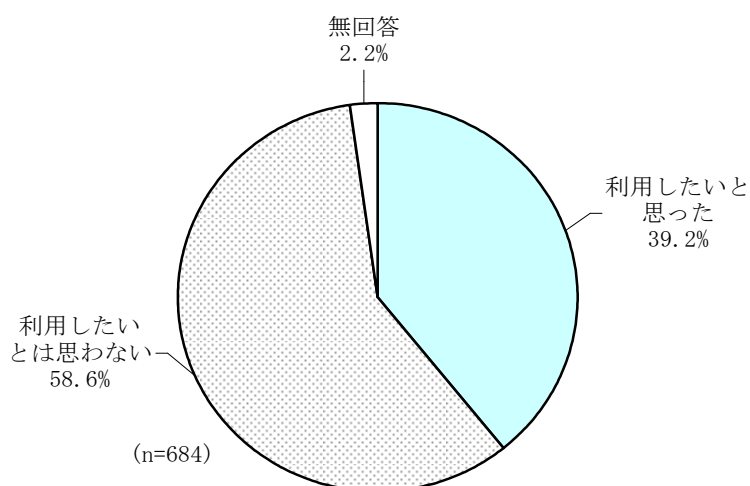
上段：実数、下段：%

(3) 病児・病後児保育事業の利用希望

問22-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。
【○は1つだけ】また、その場合の日数はどれくらいありますか

【病児・病後児保育事業の利用意向】

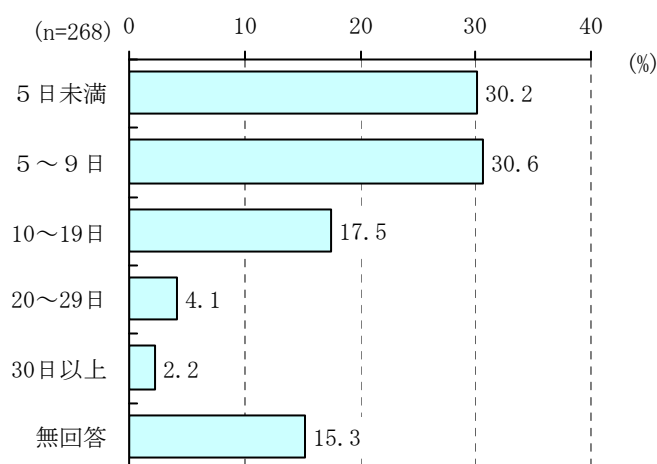
※父親もしくは母親が仕事を休んだ人



病児・病後児保育事業の利用希望をみると、「利用したいと思った」が39.2%、「利用したいとは思わない」が58.6%となっている。

【病児・病後児保育事業の利用希望日数（年間）】

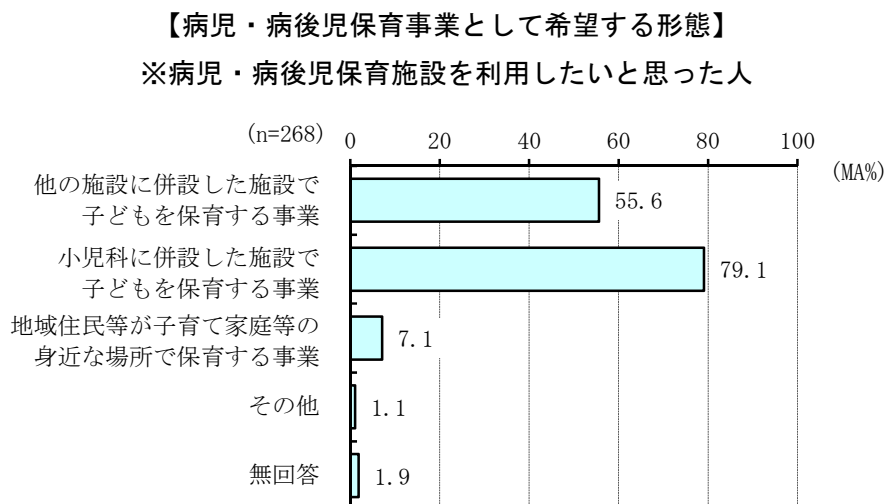
※病児・病後児保育施設を利用したいと思った人



病児・病後児保育事業の利用希望日数（年間）をみると、「5～9日」が30.6%で最も高く、次いで「5日未満」(30.2%)の順となっている。

(4) 病児・病後児保育事業として希望する形態

問22-3 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。【〇はあてはまるものすべて】

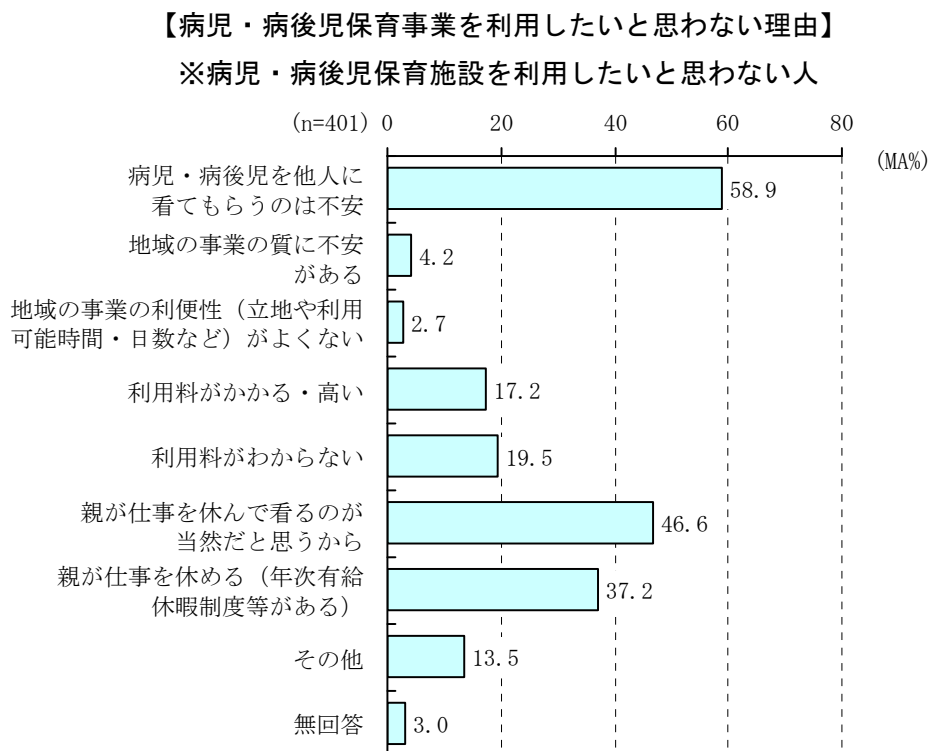


病児・病後児保育事業として希望する形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が79.1%で最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(55.6%)の順となっている。

順位	問22-3 その他の内容	件数
1	仕事場、家の近くで安心して預けられる	1
1	障害児も看てもらえる	1
-	その他	1

(5) 病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由

問22-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。
【〇はあてはまるものすべて】



病児・病後児保育事業を利用したいと思わない理由をみると、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」が 58.9%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで看るのが当然だと思うから」(46.6%) の順となっている。

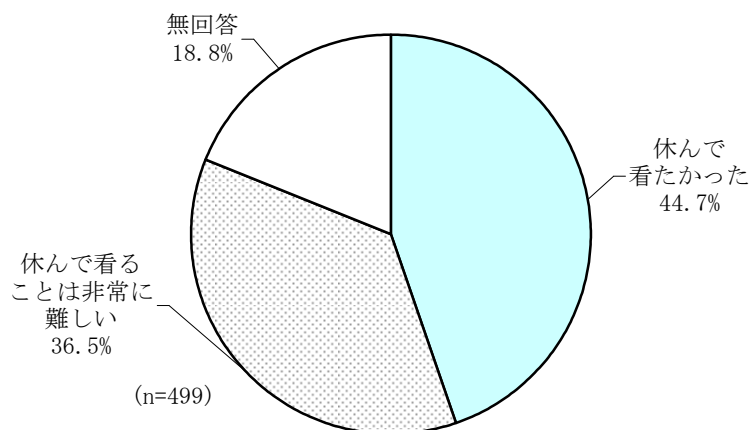
順位	問 22-4 その他の内容	件数
1	子どものためにそばにいてあげたいと思う	17
2	他に看てくれる人がいるから	11
3	そのような施設があることを知らなかった	6
4	親自身が子どもが心配で、自分で看たいと思う	3
4	病気のうつし合いがあっては困るから	3
6	どこに、どれだけ病児保育施設があるのかを知らない	2
6	小野市にあることを知らなかった	2
-	その他	9

(6) 子どもが病気やケガで休んだ場合、父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。
 【〇は1つだけ】
 また、その場合の仕事で休んで見たかかった日数はどれくらいありますか。

【父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか】

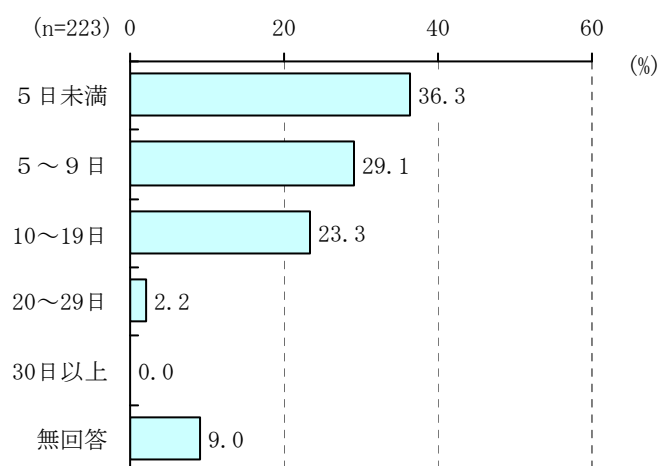
※父母以外が子どもを見た人



子どもが病気やケガで休んだ場合、父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかをみると、「休んで看たかった」が44.7%、「休んで看るとは非常に難しい」が36.5%となっている。

【仕事を休んで見たかかった日数（年間）】

※父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思った人



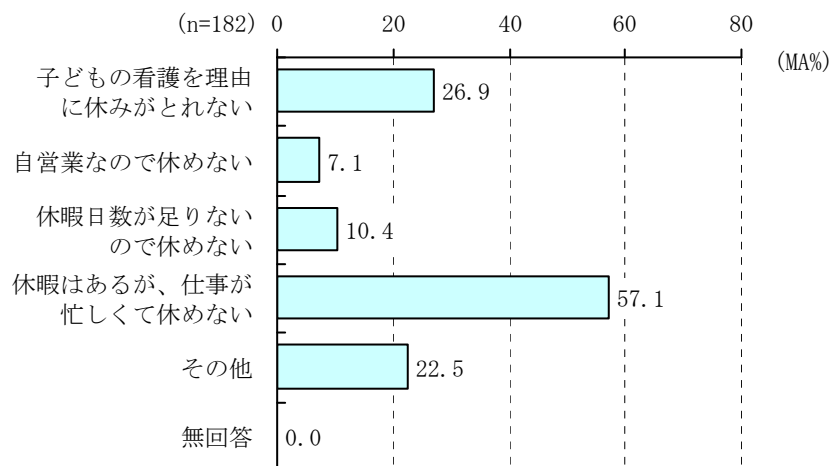
休んで見たかかった日数（年間）をみると、「5日未満」が36.3%で最も高く、次いで「5～9日」(29.1%)、「10～19日」(23.3%)の順となっている。

(7) 子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が仕事を休んで看ることが難しい理由

問22-6 その理由は何ですか。【〇はあてはまるものすべて】

【子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が仕事を休んで看ることが難しい理由】

※父母のいずれかが仕事を休んで看することは非常に難しい人



子どもが病気やケガで休んだ場合、父母が仕事を休んで看ることが難しい理由をみると、「休暇はあるが、仕事が忙しくて休めない」が57.1%で最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」(26.9%)の順となっている。

順位	問22-6 その他の内容	件数
1	代わりがないので休めない	14
2	祖父母が看ってくれるので預けた	6
3	長期間休むことは難しい、気が引ける	5
4	経済面の理由で休めない	3
4	休むと仕事がたまるから	3
6	他の人に迷惑がかかるので休みにくい	2
7	学校行事などでしかたなく	1
-	その他	8